

# 令和2年6月立山町議会定例会一般質問通告概要

(R2.6.4～16)

## ※質問順番

1番	窪田	一誠	議員
2番	澤井	峰子	議員
3番	後藤	智文	議員
4番	髪口	清隆	議員

## 1番 窪田 一誠 議員

### (1) 公共施設の今後の対応について

公共施設の老朽化が進む一方で、災害時における施設機能の強化や、施設利用状況に対する効率化など、新たな課題にも対応していかなければならない。

町では今年度、これらの課題に対応するため、町中心部における公共施設の再編・集約について定めた「立山町中心部公共施設再配置計画」を策定すると聞いている。

①計画を策定するにあたり、プロポーザルを実施すると聞いているが、現在の状況、および完成はいつ頃の予定か。また、この計画は、現在策定中の「第10次立山町総合計画」にどのように反映されるのか。

②今回の計画の対象施設の中に五百石公民館があるが、他の地域にも同じ時期に建設された公民館もある。今回は「立山町中心部公共施設再配置計画」を策定とあるが、特に、新川公民館も老朽化しており、地域住民の願いでもある災害時のハザードマップに指定されている避難所であり、町長は常々「公民館と消防団詰所」を一体で改築を考えていると発言されている。現在策定中の「第10次立山町総合計画」にどのように反映されるのか。

### (2) 消防業務について

①新任消防長としての決意表明と抱負を述べていただきたい。

②消防署におけるコロナウイルス感染防止対策と危機管理について、消防職員が感染した場合、定員が決まっている現状だが、対応について。

③今年度新規購入される車両が配置されるが、導入によって消火活動に与える影響について問います。

### (3) 税務について

①新任の税務課長としての決意と抱負を述べていただきたい。

②コロナウイルス感染症の影響による税制上の措置について

### (4) 商工業と観光行政について

①新任商工観光課長としての決意表明と抱負をお聞きしたい。

②コロナウイルス収束後の商業振興と観光について

③政府はコロナウイルス対策で第2次補正が6月12日に成立と報道されているが、立山町では第2次補正はどのような計画があるのか。

## (5) 林道崩壊について

町の林道長倉線、塔倉山線が土砂崩れによって通行不能となっていると聞き、その林道路線の中に町の観光地である、岩室の滝へ通じる林道も土砂崩れによって通行不能になっているが、町としてどの様に復旧通行可能になる期間などを答えていただきたい。

## 2番 澤井 峰子 議員

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策

第二次補正による臨時交付金の活用について、第2波に備えどのような支援対策を考えているのかを伺う。

- ①町の経済活動(事業継続と雇用)を守る支援策は(たてぽカード20%還元の見直しについて)
- ②小中学校児童・生徒への学習支援、健康支援策は
- ③在宅介護を含め高齢者の健康維持への対策は
- ④エッセンシャルワーカー(医療・介護・保育従事者をはじめとする方々)への差別がない町へ

### (2) 避難所の感染防止対策について

避難所の3密を避けるため収容数が1/3となる現状を踏まえ、今後、新たな避難行動、避難生活を構築していかねばならない。

- ①避難所(特に体育館)での感染防止が必要とされるトイレ、食事、お風呂に加え、床が危険視されている。飛沫によるウイルス対策としてダンボールベッド、パーテーション等が有効とされ、6月補正にも計上されている。町としてこうした感染防止の備蓄品の現状と今後の整備を伺う。
- ②分散避難、在宅避難等が推進されていくなかで、各家庭での新しい防災への認識・啓発が重要である。感染防止を想定した備蓄品、例えば履物、マスク、消毒、体温計、ビニール袋、防寒着等を各自で備える啓発への対策は。
- ③支援が必要な方の分散避難、在宅避難の状況を把握する体制について伺う(国では被災者アセスメント調査票が有効であるとされているが)
- ④コロナ禍の中で災害発生となった場合、県外からの災害ボランティアが見込めないことを想定し、県内での関係機関との連携が重要であると考えるが対策を伺う。

### (3) 詐欺被害防止を強化

新型コロナに便乗した詐欺が急増している。高齢者だけでなく収入減り困窮しているサラリーマンをターゲットに「給料ファクタリング」といった給料前借サービスと称した被害が増えている。町民へ更なる啓発対策を

## 3番 後藤 智文 議員

### (1) 新型コロナウイルス感染症に対する認識について

- ①新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、わが町にも影響を与えたことに関して、大災害に匹敵すると思われるが町長としてどのように捉えているか。
- ②今後第2波、第3波も予想されるなど、影響は長期に及ぶことが確実と思われる。国、県の財政支出プラス、町の財政調整基金を支出して思い切った政策と継続的な対策を取るべきではな

いか。

## (2) 子育て支援について

- ①小・中学生に対して、給食費は無償にし、親の負担を減らすべきではないか。
- ②子育て応援金を一回こっきりにしなくて、複数回の支援を実施すべきではないか。特にひとり親家庭には配慮が必要ではないか。
- ③特別定額給付金の対象外になる4月28日以降に誕生した子供の世帯に、10万円給付をすべきではないか。

## (3) 観光について

- ①山小屋は、登山文化の継承・発展のために欠かせない施設だ。営業自粛で経営が行き詰まっている。また、登山客の減少が懸念される。しかも、支援がほとんどないのが現状だ。
  1. 3密対策の施設改善や、消毒などの消耗品に支援をするべきではないか。
  2. 県の宿泊助成も山小屋は無関係だ。町民が山小屋に宿泊した場合に対して半額助成ができないか。
- ②立山黒部アルペンルートは県外、海外からの旅行者が見込めない。そこで、立山町民が立山黒部アルペンルートを利用した場合に交通費の半額助成ができないか。立山黒部貫光に対して援助になるし、立山にまた行ってみたい町民の願いにもかなうのではないか。

## (4) 複合災害に備えて

自然災害が発生した場合、新型コロナ感染予防に対して避難所での過ごし方が問題になる。計画の見直しが必要ではないか。

- ①3密を避けるため、避難所の数を増やすべきではないか。
- ②避難所では間隔を保つスペースの確保のため、学校では体育館だけでなく教室も使う計画が必要ではないか。また、衝立の設置、消毒薬などの備品の整備をすべきではないか。
- ③感染者や疑いの人がいる場合は、建物のエリアを分けるなど隔離のための対策をとるべきでは。

## (5) 教育について

- ①新型コロナ感染の第2波や自然災害、インフルエンザ流行などに備えるためにもオンライン授業は欠かせなくなっている。タブレットの備蓄もあり、一日でも早く整備すべきだが、いつごろまでにその環境が整うのか。
- ②子供たちのかつてない心身のストレスはためこまれている。心身のケアはどのように取り組むか。
- ③子供たちの学びの保証をするために「学習の精選」を図って進めていくべきではないか。
- ④学年が変わるときに周知される就学援助制度は、新型コロナの影響で申請できなかった家庭や、家計が急変し、年度途中で認定が必要な場合が考えられ、もういちど周知を図るべきではないか。

## (6) 消防について

- ①救急隊員の新型コロナ対策は万全か。
- ②夏には立山室堂に救急隊員が常駐するが、新型コロナ対策は万全か。

#### (7) 高齢者について

- ①お年寄りには家に閉じこもる生活を余儀なくされている。老人クラブの県内旅行に、一人当たり1000円補助する制度はできないか。
- ②高齢者の難聴は、社会生活に影響している。補聴器購入費用に助成をすべきではないか。

## 4番 髪口 清隆 議員

#### (1) たてポカードについて

たてポカードの還元率を期間限定で20%にするとのことですが

- ①この政策について。
- ②たてポカード取扱店の増加が望まれるが、現在の加盟店の加入状況は。
- ③幅広い年齢層でカードが使用されればと思うが、年代別でのたてポカードの発行状況は。

#### (2) 教育について

新型コロナウイルスの世界的な蔓延により出された緊急事態宣言が解除されて、町内の小中学校では6月1日より再開された。

- ①コロナ第2波、第3波が心配される中、再休業の可能性もある。そうなった場合、さまざまな課題が山積していると思うが、県内でも早い段階で、町内の全児童生徒に貸出されたタブレット端末を有効活用する意味においても、オンライン授業を行えればと思うが。
- ②コロナ禍により授業時間の不足が懸念される中、主要教科の授業が優先されると思われるが、体育や音楽そして教科化になった道徳などを含めた、現時点での総合的な履修計画は。

#### (3) 特別定額給付金事業について

国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」を受け実施され、立山町では5月1日からオンラインによる申請が始まり、5月18日からは郵送による申請書の受付が開始された。

- ①オンライン申請による混乱や事務の遅れがあったとの一部報道があるが、立山町での支給事務はスムーズに行われているのか、また現在の支給状況は。
- ②町民会館にて相談窓口を開設し、申請書記入のサポートが行われているが、施設に入所されている方や高齢者のひとり暮らしの方など、外出や申請書の記入が困難なために申請できない方の把握はされているのか、またその対応は。

#### (4) 有害鳥獣について

コロナ禍中ではあるが、クマやイノシシは自粛してくれません。

- ・5月17日、富山市の住宅地で高齢女性2人がクマに襲われ怪我をされた立山町でも昨年被害に遭われた方がいる。
- ・今年に入り全国で豚熱に感染した野生イノシシが500頭以上見つまっていることの中で、4月以降には新潟、神奈川、京都の3府県でも初めて感染が確認されている。

以上2点、立山町における現在の状況と対策は。